

2019年2月27日

日本曹達株式会社
農業化学品事業部 普及部

日曹農業登録のお知らせ

平素より日曹農業の普及拡販にご協力を頂き誠に有難うございます。
この度下記農薬が2019年2月27日付けで登録変更となりましたので、ご連絡申し上げます。
今後とも、ご指導・ご鞭撻頂きますようお願い致します。

(記)

「トップジンM水和剤」

(農林水産省登録 第11573号)

【 変更内容の概要 】

下記の作物が登録追加・変更になりました。

1. 作物名「さといも(葉柄)」及び「くり」を追加。
2. 作物名「いちご」に使用方法「散布」(うどんこ病/1,500/収穫開始21日前まで/3回以内)を追加。
3. 作物名「もも」に適用病害名「うどんこ病」(1,000/散布)を追加。
4. 作物名「しょうが」に適用病害名「白星病」(1,000/散布)を追加。
5. 作物名「みかん」、「小麦」及び「たまねぎ」のチオファネートメチルを含む農薬の総使用回数を下記のとおり変更。

みかん : 8回以内(塗布は3回以内、散布、空中散布及び無人航空機散布は合計5回以内)

小麦 : 4回以内(種子への処理は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計3回以内、
出穂期以降は2回以内)

たまねぎ : 7回以内(種子への処理は1回以内、苗根部浸漬は1回以内、無人航空機散布は3回以内、
散布は5回以内)

6. 「使用上の注意事項」について以下のとおり変更。

(1) いちごに対して使用する場合には下記の注意を守ること。

① 萎黄病防除に使用する場合には下記の注意を守ること。

i) 萎黄病多発地では本剤の浸漬処理、灌注処理のみでは効果が不十分な場合もあるので、植付前には土壌くん蒸を行い、本剤処理との組合せで防除すると有効である。

ii) 灌注する場合は下記の注意を守ること。

a) 土壌の種類や条件によって効果に差が認められるので注意する。

b) 萎黄病は、土壌温度の高い時(20℃以上)に発生しやすいので、地温の高い仮植時期に処理すること。

- 次ページに続く -

c) 土壌条件などによっては葉色が劣ったり、多少生育抑制のみられる場合もあるが、その後の生育や収量の影響は認められていない。

iii) 苗根部浸漬する場合は、浸漬時間が長く(所定時間以上)になると薬害(活着不良)を生じるおそれがあるので、処理時間を厳守すること。

② うどんこ病防除に使用する場合は下記の注意を守ること。

i) 株浸漬する場合は下記の注意を守ること。

a) 株冷蔵栽培いちごの定植時に、無病苗を得るため、冷蔵前に処理するものである。

うどんこ病の発生まん延時の防除とは異なるので注意すること。

b) 浸漬処理薬液が葉裏まで十分付着するように薬液には展着剤を加用し、水洗した苗株を株全体がつかないように浸漬し、苗を薬液中で2~3回上下にゆすること。

c) 本剤処理した苗株は、水洗せずに半乾きとした後、ビニール袋に入れ、慣行に従って冷蔵すること。

d) 冷蔵後、定植前の処理では、効果が劣ることがあるので、必ず冷蔵前に処理すること。

ii) 散布する場合は、葉及び果実に汚れを生じるおそれがあるので注意すること。

【適用病害名と使用方法】

(**枠線赤字**が変更部分)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(L/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	珩ファネトメドを含む農薬の総使用回数
もも	灰星病 黒星病 杆コシ腐敗病	1,000~ 1,500	200~700	収穫前日 まで	6回以内	散布	10回以内 (塗布は3回以内、 休眠期の散布は 1回以内、 生育期の散布は 6回以内)
	枝折病 うどんこ病	1,000					
さといも (葉柄)	黒斑病	200~ 500	—	植付前	1回	20~30分間 種いも浸漬	1回
いちご	うどんこ病	1,500	100~300	収穫開始 21日前まで	3回以内	散布	4回以内 (種子への処理は 1回以内、 は種後は3回以内)
		1,000	—	株冷蔵栽培 の株冷蔵前		5分間 株浸漬	
	萎黄病	300~ 500	3L/m ²	仮植前		1時間 苗根部浸漬	
しょうが	いもち病 白星病	1,000	100~300	収穫7日前 まで	2回以内	散布	2回以内
			200~700	収穫3日前 まで	4回 以内		7回以内 (塗布は3回以内、 散布は4回以内)
みかん	そうか病	30	8	4~6月	5回以内	空中散布	8回以内 (塗布は3回以内、 散布、空中散布 及び無人航空機散布 は合計5回以内)
	灰色かび病 そうか病	1,000~ 1,500	200~700	収穫前日 まで		散布	
	貯蔵病害(軸腐病)	2,000~ 3,000					
	貯蔵病害(青かじり病) 貯蔵病害(緑かじり病)						

【適用病害名と使用方法】

(**枠線赤字**が変更部分)

作物名	適用病害名	希釈 倍数 (倍)	使用液量 (L/10a)	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	チオファネートメチルを含む 農薬の総使用回数
小麦	雪腐病	2,000~ 2,500	60~150	根雪前	3回以内 (出穂期 以降は 2回 以内)	散布	4回以内 (種子への処理は 1回以内、散布 及び無人航空機 散布は合計3回以内、 出穂期以降は 2回以内)
	雪腐大粒菌核病	1,000 250~ 500	25				
	赤かび病	250 1,000~ 1,500	60~150	収穫14日 前まで			
	うどんこ病	2,000					
	眼紋病	1,000					
たまねぎ	小菌核病	1,000 500~ 1,000	100~300	収穫前日 まで	6回以内 (但し 定植後は 5回 以内)	散布 5分間 苗根部浸漬	7回以内 (種子への処理は 1回以内、 苗根部浸漬は 1回以内、 無人航空機散布は 3回以内、 散布は5回以内)
	灰色腐敗病	500	-	定植直前			

以上

札幌営業所 TEL:011-241-5581
 仙台営業所 TEL:022-227-1741
 関東営業所 TEL:048-677-6010

大阪支店 TEL:06-6229-734
 福岡営業所 TEL:092-771-1336